

里山の大切さを体験

平成 22 年 10 月 9 日（土）

ふれあいの森一帯において、アルピニストの野口健氏を迎え、第3回富士電機「環境学校」が開催されました。

本取組みは、平成 19 年 2 月より展開している「里山再生活動」を通じた環境保全の取組を次世代へ引き継ぐことを目的に富士電機の主催により、和水町・南関町・熊本県立大学・地元津田平野地区の地域づくり団体「なごみの里（津田・平野地区里づくり協議会）」の協力を得て、平成 20 年より開催しています。

第3回目となる今回は、南関町の小学6年生30人が参加し、稲刈り体験や竹飯ごうづくりなどを通じて、子ども達に森の役割や環境保全の大切さなど、自然環境について考えるよい機会になったと思います。

